

☆ 星に願いを ☆

コロナ禍や生憎の天候のため、気分もなかなか晴れない中でしたが、七夕ということで、気持ちを切り替えて、3学年の生徒一人一人が、それぞれの願いを短冊に綴りました。生徒の皆さんの前向きな気持ちが伝わってきます。

「楽しく、幸せに過ごせますように」(永井杏)

少しでも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、以前の生活に戻ってほしいという思いで書きました。願いを叶えるため、改めて頑張ろうという気持ちになりました。

「志望校に合格して、親友と宮城旅行に行けますように」

(小切凜子)

受験に対する不安が大きいののでそれを願い、合格の先に待っているであろう楽しい未来への思いも込めました。最近はコロナや模試で友達に会えていなかったなので、仲の良い友達と志望校に合格した私で、いっぱい、いっぱい、思い切って遊べる日が来ることが待ち遠しく感じます。

「毎日笑う」(江川柚羽)

高校生活最後を3年間一緒に過ごしてきた友達と1日1日笑ってたいです。行事ごとが制限される中で、このような行事があるのは嬉しく思います。



